

令和6年度施政方針 (概要)

約4年の長きにわたり、市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルスにつきましても、昨年5月に、感染症法上の位置づけが5類に移行され、本市におきましても、うわじま牛鬼まつりをはじめとした各種イベントを従来規模で制限なく開催できるなど、ようやくコロナ前の日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、決してコロナウイルスがなくなったわけではありませんので、市民の皆様におかれましては、改めて、ウイズコロナを意識していただき、併せて季節性インフルエンザについても、県全体で注意報が発令されておりますので、高齢者や重症化リスクの高い方は、マスクの着用や手洗い、うがいの徹底など、感染回避行動に努めていただきますようお願いいたします。

さて、内閣府による本年2月の月例経済報告によりますと、我が国の景気は、「このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。」とされておりますが、ロシアによるウクライナ侵攻や中東地域をめぐる情勢は収束の兆しも見えておらず、これに、大幅な円安の影響が重なり、原材料やエネルギー価格など、物価全体の上昇が続いております。

このような中、本市を含む地域経済も大きな影響を受けており、少子高齢化の進行も相まって、先行き不透明な極めて厳しい状況にあるものと認識しております。

一方、本市の財政状況につきましては、平成30年7月豪雨災害の復旧事業などの影響により、財政健全化法に基づく主要指標の一つである「実質公債費比率」が一時的に上昇傾向にあるものの、全体としては、おおむね堅調を維持しております。

しかしながら、当面するエネルギー価格・物価高騰対策をはじめ、人口減少対策や、南海トラフ巨大地震はもとより、近年、頻発化・激甚化する豪雨災害などに備える防災・減災対策、さらには、地域の活力維持に向けた取り組みなど、避けて通ることのできない重要課題が山積しております。

このような状況を踏まえ、令和6年度当初予算においては、堅実な財政運営に十分配慮しながら、引き続き、積極果敢に取り組んでまいります。

またシテイセールスの展開では、これまでの宇和島百景の取り組みを生かした展示イベントや幅広い世代が写真文化に触れる機会を提供する事業を展開するほか、宇和島城や闘牛などの観光情報の発信強化に努めるとともに、第3期うわじまブランド魅力化計画の策定にも取り組むことといたしました。

次に、DXの推進では、行政手続きのオンライン化や業務の効率化を通じて、引き続き、市民負担の軽減や職務環境の改善を図るとともに、防災・減災や健康、教育をはじめ、あらゆる分野での効果的なデジタル技術の導入・活用に積極的に取り組んでまいります。

そして、2期目の公約として掲げている「6つの創」の実現により、まちの魅力を高め、地域の子どもたちはもとより、市内外の多くの方々から「選ばれるまち」となることを目指し、当面する諸課題に対し、しっかりと取り組んでまいります。

令和6年度 施政方針(抜粋)

令和6年2月27日「第94回宇和島市議会定例会本会議」において市長が表明した施政方針から、おもな項目を抜粋してお知らせします。なお施政方針全文については、市ホームページをご覧ください。



エネルギー価格・物価高騰対策

- ▶ 令和6年分の所得税および令和6年度分の個人住民税の定額減税や調整給付を実施
- ▶ 第7弾「地域とつながる商品券」を発行 ▶ 給食食材費の高騰分を負担

「選ばれるまち」へ ～ 6つの「創」～

本市のまちの魅力を高め、市内外の多くの人から「選ばれるまち」となることを目指し、
「6つの創」の実現に向けて積極的に取り組みます。

1 産業を創る

本市の基幹産業である農林水産業においては、従事者の高齢化や担い手の減少、生産基盤の老朽化などの課題が深刻化しています。今後の持続的な発展には、意欲ある担い手の確保・育成が極めて重要な課題となっていることから、引き続き移住支援とも連動しながら、新規就業者に対して研修から自立までをトータルでサポートします。

農業

▼企業版ふるさと納税を活用し、JAえひめ南が4月に開校予定の「みかん学校」の取り組みに対して実習用機械の導入を支援するほか、新規就農者の募集や産地紹介動画の作成などの情報発信を行い、包括的かつ強力に支援

林業

▼増額される森林環境譲与税を活用し、引き続き「南予森林アカデミー」における担い手の育成に取り組み

▼造林事業に対する新たな支援を拡充し、未整備森林の整備促進を図る

▼住宅建築に対する助成を充実するなど木材利用の促進に努める

水産業

▼赤潮や魚価低迷などのリスクへの備えとして、漁業共済、「積立ぶらす」への加入促進を図る

▼沿岸部の磯焼けなどが問題となっていることから、藻場の再生を通して、稚魚の成育場やブルーカーボンの蓄積へとつなげる取り組みを行う

▼世界に誇る真珠生産地としての持続的な発展に向けて、引き続き県や漁協などと連携しながら、避難漁場を含めた漁場のモニタリング、稚貝購入費への支援、へい死に耐性のあるアコヤガイの作出に取り組みとともに、国内外に向けて真珠の魅力発信に注力

商工業

▼融資制度を拡充し、財政面での支援を強化するとともに、人材育成や販路開拓に取り組み中小企業者を支援

- ▼ライブコマースに特化したセミナーなどの実施やPR力強化の支援など、DXの取り組みに対する支援を強化
- ▼地域おこし協力隊制度を活用し、情報発信や大会の充実を図り、観光の目玉としての闘牛の振興と人材育成に努める

2 安全を創る

平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえ、防災・減災対策を強化するとともに、南海トラフ巨大地震発生後の復興に迅速かつ適切に取り組めるよう、事前復興計画の策定を進めています。

南海トラフ巨大地震への備え

- ▼能登半島地震の被害状況や必要な資材の情報を踏まえ、トイレなどの避難所で必要な資機材の備蓄を拡充
- ▼住家の倒壊から命を守るため、家具固定器具などの設置に対する補助制度を創設
- ▼木造住宅の耐震化支援の拡充
- ▼耐震性のない市営住宅入所者に対する民間賃貸住宅の活用支援

断水対策

- ▼防災井戸の整備に対し助成
- ▼可搬式発電機を活用した水道施設の停電対策、水道管の耐震化などに計画的に取り組む

地域防災力の向上

- ▼自主防災組織、防災士会などと連携し、防災講習会や防災訓練に対し支援
- ▼高齢者や障がいのある人など避難行動要支援者の個別避難計画の作成を促進し、実効性の高い支援体制を構築

DXの取り組みなど

- ▼国土交通省の道路カメラと接続し、大規模災害時における緊急車両などの移動の円滑化を図る
- ▼洪水ARハザードマップの追加などにより、避難行動の支援を強化
- ▼頻発化する浸水被害の解消に向けて、雨水公共下水道事業などに取り組む



3 安心を創る

はぐくみサポートステーション

- ▼「発達支援センター」「こども支援教室わかたけ」「あけぼの園」が順次オープンし、8月に発達・教育等支援施設「宇和島市はぐくみサポートステーション」として全面供用開始予定
- ▼関係機関と連携しながら、複合施設としてのメリットを發揮し、発達障がいや心身障がい、不登校の傾向のある児童生徒、家族などからの相談や自立に向けてのサポートなどに取り組む

開業医の後継者不足対策

- ▼医療機関の新規開業や事業承継を後押しする補助制度を創設

病院事業

- ▼看護師に対する奨学金貸付制度の拡充など、医療人材の確保に取り組む
- ▼建設中の宇和島病院エネルギーセンターにDMAT待機所や備蓄倉庫、福祉避難所を整備するなど、災害拠点病院としての機能強化を図る

- ▼DXの取り組みとして、感染管理、診断書作成などの業務の効率化を進め、医師や看護師などの負担軽減を図る

障がい者や高齢者への支援

- ▼人工呼吸器の非常用電源装置や人工内耳用物品など、障がい者の日常生活に必要な用具を給付対象に追加
- ▼高齢者の社会参加を促進するため、まちなかでの拠点づくりの検討や生活支援コーディネーターの配置など、住民主体の地域づくりや介護予防の促進を支援

地域公共交通対策

- ▼昨年度の実証運行の成果を受け、戸島地区に地域モビリティを本格導入するとともに、新たに日振島地区において実証運行に取り組む



4 人を創る

国の対策や県のえひめ人口減少対策総合交付金も活用しながら、結婚から妊娠、出産、子育てに至るまで切れ目のない支援に取り組んでいます。経済的・精神的な負担を更に軽減し、若い世代の誰もが将来に明るい希望を持てるよう、より一層の充実を図ります。

結婚支援

- ▼ 経済的な支援にかかる所得要件・年齢要件を緩和
- ▼ 婚活イベントやセミナーなどを開催し、出会いの場の創出や、婚活に対する意識の高揚とコミュニケーションスキルを向上する機会を提供

「子育てしやすいまちづくり」の更なる推進

- ▼ 若年世帯が経済的な理由により、出産を諦めることがないように、出産後の奨学金返還を支援
- ▼ 多子世帯に対する保育料や放課後子ども教室、放課後児童クラブの利用料の軽減措置を拡大
- ▼ 令和6年4月から、子ども医療

費の無償化の対象範囲を18歳まで拡大

- ▼ 共働き世帯やひとり親世帯をサポートする病児保育施設の開設準備を支援
- ▼ 生活困窮世帯の子どもや保護者に対する学習・生活相談体制を充実
- ▼ ヤングケアラー対策コーディネーターを配置

ホリバタ事業

- ▼ 新たに学生の長期インターンや地域人材の活用を図りながら、地域社会の創り手育成を目指す



5 まちを創る

伊達博物館改築事業

- ▼ 3月補正予算での債務負担行為の増額の承認を受け、当初の予定である令和9年春の開館を目指す

- ▼ 現伊達博物館跡地での新児童公園の整備に向けて、近隣住民や利用者などの意見も聞きながら、基本計画の策定に着手

道の駅津島熱田温泉の再整備

- ▼ サウナを充実させた温浴施設や特産品販売所、レストランなどを有する複合施設として再整備を進め、建設工事に着手

恵み豊かな宇和海の環境保全

- ▼ 瀬戸内オーシャンズXおよび愛媛県と連携し、上陸母船を活用した大規模な漂着ごみ回収実証事業に取り組む

- ▼ 自治会、ボランティア団体、漁業関係者に加え、新たに渡船団体や遊漁船団体の協力をいただき、海洋ごみの効果的な回収ならびに適切な処分に取り組む
- ▼ 海洋ごみの7／8割が河川から



の流入と言われていることから、意識啓発セミナーの開催や河川での回収強化などに取り組む

- ▼ 公共下水道区域外における合併浄化槽設置の大幅な支援拡充を図り、生活排水による水質悪化防止を強化

岩松地区「重要伝統的建造物群保存地区」選定

- ▼ 町並みの保全や景観整備を支援
- ▼ 選定記念シンポジウムを開催
- ▼ 地域の人たちと連携して、情報発信や活用に向けて取り組む

まちの賑わいの創出

- ▼ 特色のある食文化を発信するイベントの開催を支援
- ▼ 観光のシンボルである宇和島城の改修整備、魅力発信

6 チームうわじまを創る

人口減少対策

- ▼ 移住・定住促進支援金などの経済的支援に取り組み
- ▼ 昨年末に完成した移住ガイドブックやリーフレットをフル活用し、移住を検討する人に対し本市での暮らしをより具体的にイメージできるような積極的情報発信を強化
- ▼ 新たに専用のLINE公式アカウントを開設し、気軽に相談できる体制を整備
- ▼ 人と地域、人と人とのつながりを重視し、うわじま移住応援隊との連携、うわじまめぐりMAPの活用、移住者交流会の開催などを通じて、移住前はもとより移住後においてもさまざまな分野からサポート

市民協働のまちづくり

- ▼ コミュニティ活動の拠点となる集会所の長寿命化などの整備に對する支援を拡充
- ▼ 地域課題の解決に向けた自主活動の後押しや多様な主体をつなぐ中間支援組織の育成に努める

ホノルル市姉妹都市提携20周年

- ▼ これまでの交流のパネル展やハワイ料理教室などを開催

積極的なDXの推進

- ▼ 電子地域ポイント「RUCPOINT」について、対象活動の追加や「うわじま歩ポ」との連携のほか、アプリ機能の拡充に取り組み
- ▼ 市の公式アプリやオンライン申請に関するスマホ相談窓口を新設
- ▼ 郵便局と連携し、引き続きマイナンバーカードの普及促進に取り組み
- ▼ コンビニ交付で取得できる証明書の種類拡充、公共工事での遠隔臨場、生成AIの導入など、市民サービスの向上や行政事務の効率化につなげる
- ▼ AIドリルの更新による学習環境の整備
- ▼ 図書館システムの更新による利用者の利便性向上に注力
- ▼ 次期「宇和島市DX推進計画」の策定に取り組み

そのほか重点施策

平成30年7月豪雨災害関連

- ▼ 農地・農業用施設災害復旧工事について、関連工事の早期完成に取り組む
- ▼ 玉津地区および立間地区の農地再編復旧について、実施主体である愛媛県と連携し、一日も早い営農再開を目指して円滑な事業推進に努める

吉田統合小学校建設事業

- ▼ 令和7年4月の開校に向け工事を着実に進める
- ▼ 学校や保護者、地域と調整しながら、スムーズな学校運営ができるよう万全の準備を進める

学校事業

- ▼ 子どもと向き合う時間の確保と教員のワークライフバランスの実現を図るため、モデル校で業務改善の実証事業に取り組む
- ▼ 本市出身の山下亀三郎氏が設立し多くの著名な音楽家を輩出している桐朋学園の協力で、市内中学校や高校で演奏指導を実施

声を力に

- ▼ 各地域に向ききタウンミーティングを開催

